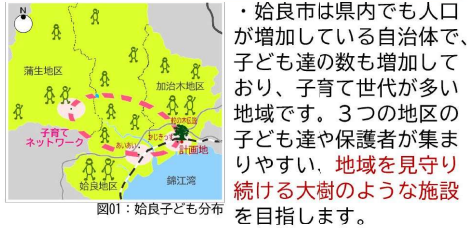


ぬくもりと安心で包み込む地域で見守る子育て拠点

1. 基本方針を実現するための基本的な考え方 始良を結ぶ4つの巣箱 nest box



・始良市は県内でも人口が増加している自治体で、子ども達の数も増加しており、子育て世代が多い地域です。3つの地区の子ども達や保護者が集まりやすい、**地域を見守り続ける大樹のような施設**を目指します。

1 安心安全な拠
地上より高い位置に形成し、外からの侵入や見られることを防ぎ親子が安心安全に集えます。

2 まちの憩い場
天候にかかわらず、親子で憩える「ひろば」を点在させ一緒に活動ができます。

3 人を繋ぐ絆ステーション
子育て仲間がコミュニティーを形成し、幅広い世代が集え地域イベントが行えます。

4 憩しみの包括空間
遊びの中で子どもの発達に気づき、保護者に寄り添う、状況に応じた個別相談ができる空間を設けます。

図02: 「地域を見守り続ける大樹と4つの巣箱」を軸とした考え方

2. 設計を進める上で特に配慮する事項 既存施設の利用状況確認

・既存の子育て支援施設「あいあい・かじきっず」の使われ方を調査・ヒアリングし、現在の課題を把握し、解決していきます。



類似施設について関係者との知識の共有 ・最新事例調査や見学会などを通じて、皆様と方向性を共有し、施設検討・提案を行います。

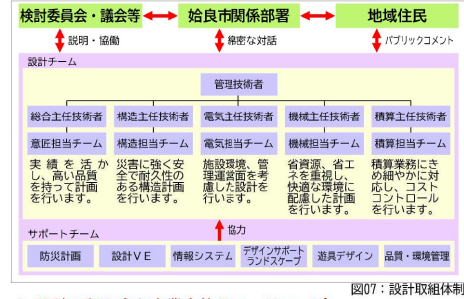


現地と周辺の徹底した調査実施

・建設予定地や周辺を視察し、環境、歴史、文化等を調査し把握します。
・周辺の図書館・公民館等の関係施設の利用実態を把握し、本施設に最適な諸室機能や規模を検討し、設計に提案します。



3. 業務の取組み体制、設計チームの特徴
「技術力」と「地域性」に精通した設計チーム
・集会所、児童福祉施設などの経験豊富な管理技術者・各主任技術者を中心に、**最新の知識や技術**を熟知した設計体制で臨みます。
・「始良地区」での数多くの設計で得てきた事務所ならではの経験を活かし、**地域性に配慮した「始良」にふさわしい施設**を実現します。



4. 設計工程を含む事業全体のロードマップ

ロードマップによる着実な業務推進

・業務開始にあたり、重要課題を整理した「ロードマップ」を作成し、設計の初期段階で徹底した調査と職員ヒアリングを行い、「パブリックコメントやワークジョブ」などの意見を的確に盛り込みます。

スムーズで確実な業務の遂行

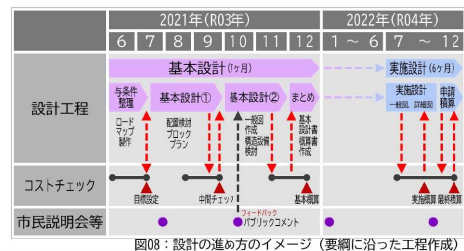
・「いつまでに誰が何をやるか」の手順や課題の見える化をし、設計チーム内や関係者の方々と、モノ決めや問題解決のスケジュールを共有し**手戻りの無い業務**を行います。

わかりやすい丁寧な打ち合わせ

・比較図や模型・BIMを活用し3次元による**視覚的に分かりやすい資料**を作成し、丁寧に説明することで、市民の皆様と円滑な合意形成を図ります。
・子どもにもわかりやすい資料や議事進行、保護者の方々の打ち合わせには女性スタッフが参加するなど、**意見を出しやすい打ち合せ**を行います。

後戻りのない確実な取組みでコスト管理

・設計の各段階ごとのチェックポイントで内容やコストを確認・承認を行うことで、**工程管理を徹底**します。



※「全天候型子育て支援拠点施設子ども館アンケート調査結果」の資料に対して、わたくしどもの考えや方針を踏まえてお答えいたします。

始良市のみなさん

こんにちは！はじめまして。始良市にお住いの皆様のご意見にお答えいたします。なんでも聞いてください。

9:00

子どもが3人います。年齢別の遊び場があるといいです。キッズスペースって何があるの？

9:05

キッズスペースは年齢別に遊べて、年齢に合った遊具を配置します。

9:05

対象年齢が小学3年生までで聞いたんだけど、3歳までの小さい子が安心して遊べる空間にしてほしい。

9:12

年齢によって空間をベビーフェンスなどで仕切ったり、やわらかい床材を使用します。

9:12

孫連れを連れていきたいんだけどばーっと遊びに行っちゃうでしょ。広い広場を見渡せるといいわー。

9:30

キッズスペースは見渡せる広い空間とします。保護者が見守れるスペースを確保します。

9:30

ボルダリング等あって、子どもの発達状況が確認できる遊具があるといいな。

10:15

年齢の身体能力にあった遊具を設置します。こどもの「できた！」を喜びに変える空間を提供します。

10:15

うちにないえほんをよみたい。ママによんでほしいの。

10:32

キッズスペースのおくにほんだながあるよ！おそとをみながらゆっくりよんでね。

10:32

ママ友と一緒に遊びに行けて、遊ばせながら話が出来たり、ゆっくりお茶できるスペースが欲しいです。

10:58

ママさんがお友達と過ごせる時間は大切です。遊ばせながら会話を楽しめる場所、座って水分補給や軽食がとれる場所を確保します。

10:58

子ども対象の公民館講座のような地域に開放した空間をつくってほしいですね。

11:10

地域の皆様にも開放できるように、多目的室を配置しました。

11:10

●基本課題③ 利用者が使いやすい施設

効率的な敷地の計画

■適正な駐車計画と合理的な配置計画

・限られた敷地の中で、駐車台数計画条件70台を確保し、施設を効率的に配置でき、人が集う開放的な空間を確保できる、「E案1階駐車場2階施設の配置」を提案します。また、豪雨災害時の浸水被害を防ぎます。

効率的な空間利用とプライバシーの確保

■利用しやすい明快な配置構成

・機能をすべて2階のワンフロアに構成し、水平動線だけの見通しのよい配置とします。

■みんなが分かりやすい窓口

・2階に上がったすぐの場所に受付を配置し、利用者の出入りの把握や、施設の案内を行います。

	A 平屋、平置駐車案	B 2階建、平置駐車案	C 平屋、屋上駐車案	D 2階建、立駐車案	E 1階駐車、2階施設案
配置計画					
効率的な敷地活用	施設を整形に自由度高く作れる敷地に余白が少ない	施設をコンパクトにおさめられる敷地に余白が少ない	施設と駐車エリア分けできない敷地に余白が少ない	施設と駐車エリア分けできる敷地に十分な余白がある	施設と駐車を重なる配置できる敷地に十分な余白がある
駐車台数・駐車利便性	台数がとれない	台数確保が可能 全数平置きできる	台数確保が可能 2ヶ所になり不便	台数確保が可能 出入りが限定され安全	台数確保可能 一部屋根付き駐車 ワンフロアに集約され 天井高の自由さ
全体ホリウム施設の機能性	ワンフロアに集約され天井高の自由さ	2階で天井高さに制限がある機能が分かれ連携が回りにくい	1層分だけ屋上の荷重で構造部材は大 防水処理が必要	機能は上下に分かれるが天井高さに制限がある	2層分だけ構造部材は大 血液を吸引開放できる 集約設計がセットバックがとれる
経済性	1層分だけ構造部材が小さい	2層分だけ建築面積が小さくすむ	1層分だけ屋上の荷重で構造部材は大 防水処理が必要	立体駐車場の建設費がかかる	2層分だけ構造部材は大
景観及び周辺への影響	低層に抑えられ景観に馴染みやすい。	交差点側に圧迫感あり 隣地は十分セットバックがとれる	屋上部分の車の騒音影響 広場の開放エリアが少ない	立駐の騒音影響 十分な開放エリアがとれる	立駐の騒音影響 十分な開放エリアがとれる

図19: 配置計画の比較検討表

●基本課題④ 環境に配慮し、ぬくもりを感じる持続可能な施設

再生可能なエネルギーの活用

■自然エネルギーの利用

・始良の自然(風・光・熱・水)がもつエネルギーを活用したうえで、**高効率設備を無駄なく運転し**、快適な環境を実現します。

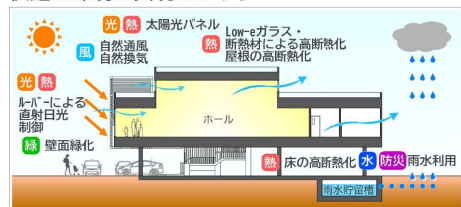


図22: 環境と共生する施設

■省エネルギー手法の導入・ZEB Readyの実現

・自然エネルギーの利用、省エネ手法の導入で、ランニングコストを大幅削減し、一次エネルギー消費量を50%以上削減し「ZEB Ready」を実現します。

項目	取り組み内容
高効率器具 節水器具の採用	高効率(LED照明等)、節水型の器具を採用 電力、水資源の使用量を削減
人感センサー 昼光利用照明システム	照明の自動制御により、消し忘れを防ぎ、電力消費量を抑制 昼光センサーを設置し、連続調光により自然採光と合わせて照度を確保
空調の効率化	ルーバーによる熱射・日射抑制 外壁の熱負荷抑制を行う

図23: 省エネルギー手法の導入

■建材・資材の地産地消

・地場産材、県産材の材料を採用し、運搬などにかかるCO2排出量を削減します。

■建物の長寿命化する手法

項目	取り組み内容
建物形状	建物にバルコニーを設け、清掃管理を容易化
外壁	防汚性の高い「フッ素樹脂塗装+光触媒塗布」の採用
内装	耐久性の高い壁・床材を採用
設備	点検・取換作業が容易にできるよう設備機器は陸屋根部分に設置 将来設備増設や機器更新が行いやすいゆとりある設備スペース
計画	中期保全計画の実施

図24: 建物の長寿命化の取り組み

■廃材、地産建材の利用

■廃材、地場産材の有効活用と始良らしさを創出

・既存物産館の廃材を、製材し直し、内装材や遊具、外部階段に再利用します。

・地場産のメアサ杉(蒲生杉)や加治木石の利用促進と普及を目指して、適材適所に採用します。

・蒲生和紙や竹細工等始良で時代を超えて受け継がれてきた技を活かした特産品をランプシェードやタペストリーなどのインテリアに使用します。

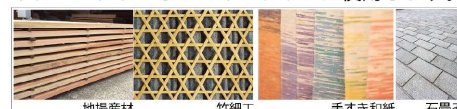


図25: 地場産材イメージ

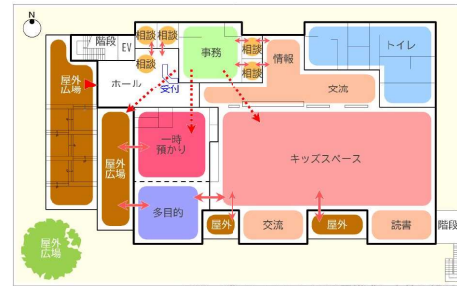


図20: 2階ワンフロアでの配置構成と内外の繋がり

■保護者に寄り添う個別相談の配慮

・5つの相談室を内容や状況によって、使い分けができるようにパターン分けを行います。保護者が気構えることなく、子どもが不安にならないよう出入口を考慮した配置計画をします。

■セキュリティラインの明確化

・一時預かりや多目的室が時間外や夜間利用に対応可能となる配置とします。

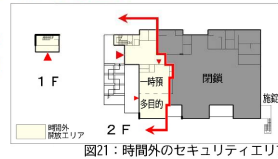


図21: 時間外のセキュリティエリア

将来的な多機能化に柔軟に対応できる構造や工法

■経済性が高く、機能に最適な構造計画

・防災拠点の確保を目標に、構造体I類・非構造部材A類とし、計画地の地盤状況を考慮した上で、空間の自由度が高く、建物の軽量化の図りやすい鉄骨造の耐震構造を提案します。

比較項目	木造(大断面)	鉄筋コンクリート造	鉄骨造
躯体コスト(構造体I類)	○	△	◎
空間の自由度	○	△	◎
標準工期	○	△	◎
耐久性、耐震性	△	◎	◎
基礎の負荷	◎ 軽い	△ 重い	◎ 軽い
汎用性	特殊技術により 施工できる	市内企業への 依存性	市内企業への 依存性
遅延リスク	工場生産により リスク小	労働確保に関する リスク大	工場生産により リスク小
コスト	工場生産により リスク小	労働費高騰による コスト増の可能性	工場生産により リスク小

図26: 構造の比較検討

・基礎方式は、安定した支持層まで到達する支持杭が適切と考えます。液状化の恐れがある場合は、適切な地盤の評価、対策を行い、十分な耐震性能を確保する基礎工法を採用します。

■スケルトン・インフィル工法

・空間を仕切る材料は、乾式とし将来の変化に応じて変更可能になるよう、改修整備を行いやすいよう、長期間建物を有効活用できるものとしします。

＜始良市のみなさん＞

ママ: 子どもの突然の「おしっこ!」には慌てるよねー。子ども用のトイレがすぐ近くにあるといいよね。 14:21

設計チーム: キッズトイレはキッズルームに隣接してあります。また、ホール近くにも配置しております。 14:21

パパ: 自分がトイレに行きたいとき、子どもをどうしようか悩みます。子どもと一緒に済ませられるトイレがあると便利です。 14:47

設計チーム: トイレ内に親子トイレを設置しています。広いスペースで介助もしやすく、一緒に済ませることが出来ます。 14:47

ママ: 雨天時に遊ぶ場所がないので、造ってもらえると嬉しいわ! 遊具が熱くならないように、屋根付の屋外で遊べる場所ほしい! 15:16

設計チーム: 屋根付きの遊び場を設置しております。遊具や砂場、手洗場、足洗場を設置します。 15:16

商店街: かもだ通りは昔から「催し」や「夏祭り」があります。商店街と一体になって、イベントができる人も集ってきます。 15:28

ママ: 交差点のシンボルツリーの廻りを憩いの場として提供し、地域と一体となって体験できるイベントやマルシェが開催できるようにスペースを設けます。 15:28

ママ: 駐車場は広いほうがいい。私、運転少し苦手なの…。チャイルドシートから抱っこ紐に抱っこするとき、スペースあるとうれしいのよね。 16:21

設計チーム: 駐車場の一部を幅を広くとった「らくらくスペース」としてあります。ベビーカーの積み下ろしも楽にできます。駐車場の一部は、屋根がかかっています。 16:21

ばあば: 商店街が近くにあって、車通りもあるけど、子どもの安全は大丈夫かしら。 16:39

設計チーム: 注意喚起サインの配置、緑地帯での緩衝を行い、安全ルート確保に努めます。 16:39

ばあば: 正直コロナが心配よね…。感染症対策とか考えているのかしら? 13:21

設計チーム: 機械換気はもちろん、バランスよく自然換気ができる開口部を設置し、安全な「空気の流れ」をデザインとします。内部はホコリが溜まりにくく、除菌・清掃しやすい材料やつらえにします。 13:21